

「アフターコロナの新常態」を見据えたスマート改革の推進

～新型コロナウイルスの感染拡大を変革の契機に～

- 新型コロナウイルスの感染拡大により、世の中の考え方・働き方は大きく変わり、「アフターコロナの新常態（ニュー・ノーマル）」が現出。

具体的には、

- ・在宅勤務を組み合わせた働き方が普通のこと。逆に、テレワーク環境を備えていない職場は敬遠される
- ・地方への移住者増加、遠隔での都会の会社への勤務、ワーケーションが普通のこと
- ・生産性を高めることへの意識が高まり、非効率な業務・作業を行うことは評価されなくなるように
- ・今回時差出勤や休暇の取得が進んだことで、自分自身で労働時間をマネジメントすることが普通のこと

——感染拡大の防止を進めつつ、
収束後の「新常態」を見据え、三重県の変革を進める

変革1 県庁改革 -Smart Government-

住民、民間団体など多様な主体、市町にとって「便利」な県庁、ICTを活用した業務の生産性向上

変革2 官民で実現する新しい働き方 -Smart Workstyle-

在宅勤務等の柔軟な働き方の実現、ワーケーション環境の整備

変革3 テクノロジー活用による社会課題解決を加速 -Smart Solutions-

最新技術を駆使した、これまで解決できなかった課題へのアプローチ

「アフターコロナの新常態」を見据えたスマート改革の推進

～「アフターコロナの新常態」を見据え、Smartな自治体変革の先陣を切る～

Smart **1** Government

【県庁とのやりとりを便利に】

- 県庁主催の会議の多くをWeb会議へ移行
- オンラインで完結する手続きを充実させ、利便性を向上。市町にも積極的に働きかけ

【業務の生産性向上】

- AI・RPAの司令塔を設置し、全庁的に業務へ導入
- 生産性、創造性を高め、コミュニケーションを活性化するオフィス改革を実施
- 電子決裁率の向上、さらなる業務のペーパーレス化を推進し、「紙があふれる職場」から決別

Smart **2** Workstyle

【県職員の働き方の見直し】

- 職員の労働時間のマネジメントを柔軟化
- 育児・介護による在宅勤務を認めるなど、平時においても職員のニーズに応じた運用を可能に

【官民で進める新しい働き方】

- ワークेशन環境の整備、企業とのマッチングを進め、新しい働き方のモデルケースを発信

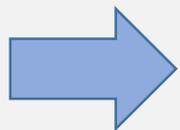
Smart **3** Solutions

【テクノロジーを活用した社会課題の解決や社会変革の後押し】

- 各政策分野へのテクノロジー活用や、ビッグデータによるファクト・県民のニーズを押さえた政策立案を推進

【スマート人材育成】

- ICTを活用した課題解決について、県職員に対し座学とフィールドワークをセットにした実践的育成事業を実施し、スマート人材を育成



県庁が率先して変革を進め、三重県全体に変革の機運を波及させる